

会 場 監 督

SAA 内 田 英 伍 副 SAA 丹 羽 和 也 副 SAA 菅 野 晋

【目標・方針】

会場監督（Sergeant at arms）の職務である『総ての会合において、秩序と品位を重んじ、かつ、円滑に会が運営されるよう配慮』することを、モットーといたします。

【活動計画】

- (1) 必要に応じ、会長・幹事・副幹事・事務局などに連絡を取りながら準備します。
- (2) 開会 30 分前には、来賓・会員各位の来場に備え、会場点検等に入ります。
- (3) 来賓・来訪者の方々に誠意をもって接し、心より出迎え、見送ります。
- (4) 席次については、できるだけ固定化しないように配慮いたします。
- (5) 毎月初めの誕生祝いのテーブル上には、生花を添えて祝福します。
- (6) 卓話中・諸事報告中などの「私語」に、会員各位の気遣いをお願いいたします。
- (7) 月一度の 100 万ドル食事を含め、皆様が楽しめる食事を、打合せ提供します。
- (8) 当日のソングリーダーは、前もってお願いしておきます。
- (9) その他、副 SAA と協力し合い、臨機応変に対応いたします。

会 員 組 織 委 員 会

委員長 八 子 英 器 副委員長 江 花 亮

【目標・方針】

ロータリー・クラブの基盤である会員組織の一層の強化を図り、同時に会員維持に向けて三つの小委員会活動を支援し、協力する。

【活動計画】

- (1) 75 名のスタートとなった阿部年度において、更なる会員増強と会員維持を目指す。
- (2) クラブ会員に対し会員増強の必要性について、意識高揚を図るプログラムを実施し、協力する（クラブ・区・地区）。
- (3) 地域に密着した職業分類表の整備を行ない、未充填分類の充填を図る。
- (4) 新会員のみならず、当クラブの会員全員に対し、ロータリーの歴史、綱領、活動に関する多くの情報を提供する為に、あらゆる機会を利用する。

会員選考・増強小委員会

小委員長 **今井吉之** 副委員長 **脇屋隆治**

委員 **大沼健次**

【目標・方針】

当委員会は職業分類表を検討し、未充填の職業分類を充填するため適当な人を理事会に推薦する。

【活動計画】

全会員に対して新会員を推薦する義務と特典を有することの理解を深め、意識の向上を図る。

新会員候補者には若い人と女性を目標に定める。

ガバナーの目標である1クラブ、1名以上の増員は達成したい。

職業分類小委員会

小委員長 **渡辺健寿** 副委員長 **阿久津 肇**

【目標・方針】

2005～2006年度作成の「充填及び未充填職業分類表」における職業分類の拡充。

【活動計画】

2005～2006年度に職業分類委員会が作成した「充填及び未充填職業分類表」について、現在の社会経済情勢等に基づいてIT関連、福祉関連、公益的団体等新しい分野の職業分類を増加させ、拡充をはかりたい。

ロータリー情報小委員会

小委員長 **白岩康夫** 副委員長 **齋藤 亮**

委員 **佐久間 幸保**

【目標・方針】

すべての会員にロータリーの根本理念を理解して頂けるよう手助けするほか、時を経て展開される新しいロータリーの情報を速やかに伝えることが目標である。

【活動計画】

(1) 例会及び会報・ホームページを通じ、新着情報(RI・DIOC)を提供する。

(2) 新会員研修セミナーの開催。

①動画またはスライドを使って「ロータリー創世期の考え」「ロータリーの源流」「四大奉仕部門」など適宜解説する。——前期

②新会員と語り合う会 一部にワークショップ形式を取り入れ、自由にロータリーに関しての意見を述べて頂く。——後期

(3) 会員候補者へのオリエンテーション。

(4) 地区協議会、地区大会、IMへ出席することは、ロータリーを正しく理解し、その活動状況を知る上で欠かすことができない。入会暦3年未満の会員に対し、義務として出席を要請する。

広 報 委 員 会

委員長 幡 研 一

【目標・方針】

ロータリーに関する情報をクラブ会員のみならず、一般の人々にも広報し、ロータリーの組織や活動について、地域社会の理解を深めるよう努力する。

【活動計画】

- (1) 会報の内容の充実・奉仕活動を積極的広報し、対外にも配布を検討。
- (2) 会報の定期的発行。
- (3) ホームページの迅速な更新。
- (4) マスコミに対する広報。
- (5) 「ロータリーの友」の紹介。

クラブ会報・資料小委員会

小委員長 増 子 勉 副委員長 菅 野 晋

委員 石 橋 純 治 委員 青 木 俊 幸 委員 大 橋 広 志

委員 川 瀬 秀 哉 委員 村 井 馨

【目標・方針】

・例会、委員会他ロータリー活動の記録性を重視する一方、「私の一言」や「会員の社会奉仕活動」なども掲載し、読みやすい会報の編集を心掛ける。

【活動計画】

- ・全例会のクラブ会報の定期的刊行。
- ・福島ロータリーの様々な活動の記録、保存。

なお、正確な事実の記録を的確に行うと共に、各委員のクラブ会報編集に伴う負担の軽減を図るために次の3点を留意する。

- (1) 編集の完全デジタル化。
- (2) スピーチ原稿入手の徹底。
- (3) 委員間での公平な業務分担。

雑誌小委員会

小委員長 土 屋 敦 雄 副委員長 村 井 千 昭

委員 浅 田 善 幸

【目標・方針】

会員の「ロータリーの友」への関心を高め、記事を通じてロータリアンとしての意識の向上を図る。

【活動計画】

- (1) 毎月「ロータリーの友」を配布し、委員が交替で注目される記事を紹介する。

(2) 福島ロータリーの活動を紹介する記事の投稿を促す。

広報マルチメディア小委員会

小委員長 河田 亨 副委員長 佐藤 虔一

委員 佐々木 光政

【目標・方針】

ロータリーの理想や理念、福島 RC の活動について、地域社会、一般市民の理解、協力を頂くよう、広報を積極的に展開したい。

【活動計画】

- (1) 各メディアに当クラブのプログラム等を随時、お知らせし、取材報道を依頼する。
- (2) 「マスコミ懇談会」を今秋に開催、メディアの報道責任者と話し合う。
- (3) インターネット「ホームページ」を充実、刷新し、一層の即時提供体制を確立したい。

クラブ管理運営委員会

委員長 茂田 士郎 副委員長 渡邊 又夫

【目標・方針】

福島ロータリー・クラブの 2008～2009 年度活動方針に添ってクラブを効果的に運営するために次のような目標をたてます。基本的には所属する各小委員会の自主的な活動を重んじながら、小委員会が有機的な情報交換、連携を保ちつつ例会、親睦会、年間行事を円滑に遂行して行くことを目標とします。特にクラブ出席率の向上、例会プログラムの遵守、会員家族との親睦によるロータリー精神の普及、ニコニコ BOX による増収と有効な活用を計ることが大切であると思います。各小委員会の円滑かつ活発な活動を期待します。

【活動計画】

個別的な活動計画は各小委員会（出席、親睦・ロータリー家族、プログラム、ニコニコ BOX）の自主性にまかせます。特に出席予定から欠席に変更した人の事前通告の徹底、欠席者のメイクアップ方法についての具体的な指導、例会での会員スピーチに対する温かい解説と感謝、家族親睦会へのムード作り、ニコニコ BOX のユーモアある紹介など、これまでも担当会員が継承して来たことを一層もりあげて進めることが望ましいと思います。クラブ会員間の親睦を深めるためにあらゆる活動を工夫して進めて行きたいと思います。

出席小委員会

小委員長 安齋 巖 副委員長 中村 忠司

委員 内田 英伍

【目標・方針】

ロータリーでは、基本活動の一步として例会出席を最重要視しています。ロータリー例会のみなら

ず地区大会など各種行事へ参加する事は、権利と思って出席を要請する。

しかし出席率は100%が理想であるが、会員各位の事情もあり、出席をノルマとせず、85%以上を目標に会員へ協力をお願いしたい。出席規程の周知徹底を図り、ご理解を得る。

ロータリアンの自分自身の向上と奉仕活動を通して活気ある例会、学べる例会を、どの様に構築できるか各委員と共に検討して出席率の向上へ繋げたい。

親睦・ロータリー家族小委員会

小委員長 丹 治 正 博 副委員長 菅 野 晴 隆

委員 佐 藤 武 彦 委員 丹 羽 和 也 委員 本 郷 昌 孝 委員 松 澤 伸 介
委員 三 和 千 之 委員 佐 藤 篤 委員 安 藤 静 之

【目標・方針】

職業の違い、年齢の垣根を越えた交流は、ロータリーならではのものです。会員同士が出会い、ロータリーを学び合うとともに、親睦を深めることは、クラブ活性化の源です。今年度は、福島クラブらしい品格を保ちながら「参加して楽しい集い」を皆さんと共に企画してまいりたいと思います。

特に阿部会長のお考えで、4月の観桜夜間例会を見直し、日曜日の昼間に桜を賞でながら信夫山を歩く「観桜ウォーキング」を計画致しております。また、今年度は県北第一区ガバナー歓迎晩餐会のホストを担当致しますので、会員各位のご協力をお願い申し上げます。

【活動計画】

- (1) 新旧役員歓送迎夜間例会 (7月17日)
- (2) 納涼夜間例会 (8月7日)
- (3) 県北第一区ガバナー歓迎晩餐会 (9月12日)
- (4) 年忘れ家族会 (12月25日)
- (5) 創立記念夜間例会 (3月26日)
- (6) 観桜ウォーキング (4月12日)
- (7) クラブゴルフコンペの開催 (4月中)
- (8) 東京交歓会 (6月中旬)

プログラム小委員会

小委員長 氏 川 守 義 副委員長 浅 輪 和 夫

委員 糠 澤 修 一 委員 児 玉 健 夫

【目標・方針】

例会が、互いに学び合い、高め合う場であり、又、楽しい交遊の場となるようプログラムの充実を計る。

【活動計画】

- (1) 今年度、阿部力哉会長の方針に沿って。
 - ①各月のロータリーの月間テーマについて、当該委員長に発表して頂く。
 - ②月一回は、会員の職業分類の一つを選び、その職業の会員に「私の職業」のテーマでスピーチをして頂く。
- (2) 新入会員には出来るだけ早期にスピーチをお願いすることによって、他の会員に早くその人を

知ってもらい、クラブに馴染んで頂く。

- (3) プログラム委員全員が立案に参加するよう、事前に十分な打合せを行う。また、毎月のプログラムの発表は委員全員が順に行う。

ニコニコ BOX 小委員会

小委員長 永澤俊二 副委員長 三宅 喬

委員 安藤 錬 雄 委員 稲葉 鐘 吾 委員 佐藤 武 彦 委員 本郷 昌 孝
委員 松澤 伸 介

【目標・方針】

- (1) ニコニコ BOX の協力金は予算の一部であることを理解していただき、各個人の裁量のなかで、できるだけの協力をお願いします。
- (2) ¥2,000,000 以上を目標とします。

【活動計画】

- (1) 書き込まれたコメントで、会員個人の特に心に残った出来事や喜び事などが紹介されると、会場の雰囲気や和らぎます、投稿した会員とその喜びを分かち合う上にも、限られた時間の中で、なるべく多く紹介します。
- (2) 例会での報告は委員会メンバーが、交替で担当します。

奉仕プロジェクト委員会

委員長 佐藤 英 典

【目標・方針】

「超私の奉仕」は、ロータリーの第一標語です。全てのロータリアンは奉仕プロジェクトの重要性を認識し、その実践に努める責務があります。奉仕プロジェクト委員会は、地元及び海外の地域社会を支援する教育的、人道的及び職業的奉仕プロジェクトを立案し実行する委員会です。従って、外部の地域社会と関わりを持つ重要な部門で、その活動の活性化無しにロータリーの存在価値を高めることは出来ません。この委員会は、下記の4つの小委員会から成り立っています。職業奉仕委員会は、事業及び専門職務の道徳的水準を高め、あらゆる職業に携わる中で奉仕の理想を生かしていくことを目的とし、社会のニーズに答えられるようなプロジェクトを開発することが望まれる。社会奉仕委員会は、クラブの所在地域または行政区域内に居住する人々の文化的な生活環境の向上に努めることを目的に活動する。新世代委員会は、ローターアクトクラブ、インターアクトクラブ、ライラ研修などを通して若い世代の人々の育成を支援することを目的とする。国際奉仕委員会は、全てのロータリアンが国際理解、親善、平和を推進することを目的とし、ロータリー・クラブの最も大きな活動と思われる。当クラブでは、双子クラブであるマリキーナとの親善・交流の発展が最重要課題である。

奉仕プロジェクト委員会の活動資金は、会員のニコニコ BOX への投入金で賄われています。ニコニコ BOX 小委員会を含めた他の委員会との協力が不可欠です。

職業奉仕小委員会

小委員長 加藤 眞 司 副委員長 岩 城 章

委員 海野 卓 哉 委員 豊田 猛 夫 委員 北村 清 士 委員 野口 主

【目標・方針】

職業奉仕は、クラブ会員各自が、職業を通じて社会に奉仕するために、会員相互の職業についての理解を深め、ロータリーの奉仕活動に役立てる。

【活動計画】

毎月、最終例会で「4つのテスト」を唱和する。

- (1) 毎月、会員医師の協力による血圧測定（月1回）を行い、会員の健康維持を図る。
- (2) 職場訪問例会の企画、実施、年2回程度。競馬場例会においては、福島RC会長賞を贈呈する。
- (3) 社会奉仕委員会、あぶくま清流協議会と協力し、「水環境保全」等の活動推進を職業奉仕の立場で協力、貢献する。
- (4) 消防団出初式において、永年勤続団員、無火災地区分団の顕彰を行う。

社会奉仕小委員会（環境保全）

小委員長 古 俣 猛 副委員長 小 林 仁 一

委員 岩 山 知 弘 委員 村 西 敬 生

【目標・方針】

ロータリアンのひとりひとりの個人生活、事業生活、社会生活に奉仕の理想を適用することを奨励・育成することを最大の目標として、地域社会のニーズを的確に据え、地域社会に奉仕する。

【活動計画】

- (1) 「あぶくま清流協議会」の活動の推進に協力。
- (2) 「福島市発明くふう展」に対する賞状、賞品の贈呈。
- (3) 県北第一区行事「交通安全パレード」への参加。
- (4) 年忘れ家族会における「チャリティオークション」の実施。
- (5) サッカー教室の開催。
- (6) 福島夏祭りへの協賛。

新世代小委員会（RAC・IAC）

小委員長 森 岡 幸 江 副委員長 加 藤 桂 一 郎

委員 佐 藤 順 一 委員 尾 形 寿 一 委員 児 玉 健 夫 委員 松 井 敏 彦
委員 佐 藤 光

【目標・方針】

30歳までの若い人々に、インターアクト、ローターアクトのプログラムを通して、責任感のある生産的な社会の一員となる準備を促すものである。

【活動計画】

- (1) 「クラブ、RAC、IAC 三者合同新世代会議」年2回開催予定。
- (2) ローターアクト・クラブ地区大会への参加。
- (3) インターアクト・クラブ地区大会への参加。
- (4) ライラ研修への参加。
- (5) 「新世代のための月間」には、理解と推進の卓話を実施。

国際奉仕小委員会（米山記念奨学会）・（双子クラブ）

小委員長 日比野 恒夫

【目標・方針】

国際奉仕の基本である「奉仕の理想に結ばれた、事業と専門職務に携わる人の世界的親交によって、国際間の理解と親善と平和を推進する」を考えその責務を果たしたい。

【活動計画】

- (1) 米山記念奨学会
米山記念奨学金の地区目標の達成を目標と致します。
新米山功労者を最低2名以上を目指したい。
- (2) 双子クラブ
福島RCの双子クラブである、マリキナRCとの事業が更に国際貢献出来るよう計画を検討し、実施したい。
- (3) 世話クラブ
米山奨学生（ベトナム）の世話クラブとして、奨学生を通しベトナムとの国際交流を計ってみたいと思います。

ロータリー財団委員会

委員長 勢島 昇

【目標・方針】

ロータリーの綱領に則り、財団の理念や理想について理解を深め、国際間の理解と親善と平和を推進する一助となる様に努める。

【活動計画】

- (1) ロータリー財団の理解を深める。
- (2) ロータリー財団月間（11月）の例会でプログラムを組む。
- (3) 1会員100ドル寄付の継続。（年次寄付）
- (4) ポールハリスフェロー、マルチプルポールハリスフェローへのお願い。
- (5) 例会時、財団BOXで小額寄付への協力依頼。
- (6) 今年度目標額／1会員あたり平均150ドル。（年次寄付額）